

令和8年度予算見積調書

課室名: 青少年課
担当名: 企画・非行防止担当
内線: 2911

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業						
P44	バーチャルユースセンター事業			一般会計	総務費	県民費	青少年育成指導費	青少年総合支援事業費						
事業期間	令和6年度～ 令和8年度	根拠法	子ども・若者育成支援推進法第13条 子ども基本法第3条、第5条	針路分野施策	050502	未来を創る子供たちの育成 豊かな心と健やかな体の育成		SDGsゴール SDGsターゲット	1, 4, 10 1-2, 1-b, 4-5, 10-					
1 事業概要	<p>居場所の数が多いこども・若者ほど自己肯定感が高く、将来に希望を持っている。こども・若者が自由に選べる居場所は、地域に加えてオンライン空間にも設置して多様性を確保することが必要である。</p> <p>そこで、メタバースにこども・若者の居場所を整備することで、あらゆるこども・若者に「居場所」があり、活躍でき、安心して暮らせる埼玉県を目指す。</p> <p>バーチャルユースセンター事業 26,835千円</p>			5 事業説明	<p>(1) 事業内容 「バーチャル埼玉」を利用して、小学生から大学生程度までのあらゆるこども・若者が安心して気軽に交流し、相談ができる居場所「バーチャルユースセンター」を運営する。</p> <p>(2) 事業計画 バーチャルユースセンターの運営を委託</p> <p>(3) 事業効果 リアルの他にメタバースにも居場所を整備することで、あらゆるこども・若者に各人に適した多様な居場所が身近にあり、将来の夢や目標を持つなど、自己肯定感を高めることができる。 また、居場所で大人と信頼関係を構築することによって、こども・若者が生きづらさを感じることがあっても、気軽に相談し、適切な支援により生きづらさを乗り越え、生き生きと活躍することができる。</p> <p>【活動指標(アウトプット)】居場所の運営(延べ利用者 720人/年) 【成果指標(アウトカム)】「居場所だと感じる」利用者の割合 50% 深刻化の予防につながったと感じる支援者の割合 60%</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 居場所の運営を民間団体に委託し、民間のノウハウを活用する。 本事業と市町村の居場所や支援を相互につなぐため市町村と連携するほか、ノウハウを共有する。</p>									
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)														
3 地方財政措置の状況 なし														
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1人=9,500千円														

予算額		財源内訳						一般財源	前年との対比
決定額	26,835							26,835	△218
前年額	27,053							27,053	

事業内訳書

事業名	バーチャルユースセンター事業		
単位事業名	バーチャルユースセンター事業	予算額	26,835千円

○歳入

(単位 : 千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	26,835	△218	
合計	26,835	△218	

○歳出

(単位 : 千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	50	△817	体験・交流等謝金
旅費	35	△10	連絡調整旅費
役務費	5	△1,458	オフ会保険料
委託料	26,745	2,067	ユースセンター運営委託費
合計	26,835	△218	